

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2019年6月24日作成

研究課題名	卵巣悪性腫瘍に対する妊孕性温存治療後の生殖内分泌機能に関する検討
研究の対象	2000年1月1日～2016年12月31日の間に卵巣悪性腫瘍に対し妊孕性温存治療として手術療法・化学療法を施行した症例
研究目的 ・方法	妊孕性温存治療として手術と化学療法を行った後の生殖内分泌機能（生理周期の変化や妊娠や不妊治療の有無について）を検討する
研究期間	2018年 4月 18日 ～ 2023年 4月 17日
研究に用いる 試料・情報の 種類	<p>診療録からの既存の情報及びアンケート調査で得た情報</p> <p>① 診療録から使用する情報： 背景情報（年齢，合併症，婚姻/パートナーの有無，受診契機，紹介元）， 治療時の妊娠分娩歴，月経歴，手術情報，診断名，化学療法の情報， 治療後の月経歴，妊娠歴，不妊治療歴，ホルモン値</p> <p>② アンケート調査による情報： 治療後の月経歴，妊娠歴，不妊治療歴，病気や生殖活動への意識</p>
外部への 情報の提供	<p>本研究は本施設及び研究協力機関にて行うため、研究協力機関からの診療録情報を取得して行う。本施設で取得した情報は、個人を特定できる情報を削除した上、研究用の番号（識別番号）を付けて取り扱う。個人と識別番号を結びつける対応表を作成し管理する。収集した情報等はパスワードを設定した電子ファイルで、データセンターである横浜市立大学附属病院産婦人科（データ管理責任者：祐森明日菜）に送付する。対応表及びその他の資料は、横浜市立大学附属市民総合医療センター婦人科のインターネットに接続できないパソコンで保存する。パソコン及びファイルは、研究関係者以外がアクセスできないよう管理保管する。</p>
外部からの 試料・情報の 取得と保管	<p>本研究では研究協力機関の情報をデータセンターである横浜市立大学附属病院産婦人科に送付し解析する。解析後の情報を再度、研究責任機関である本施設で取得し保管する。</p>
研究組織	<p>研究代表者：横浜市立大学附属病院 産婦人科 祐森明日菜 研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 婦人科 最上 多恵 研究協力機関：横浜市立大学附属病院 産婦人科 祐森 明日菜 他 10 施設</p>

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属病院 産婦人科（研究責任者）最上 多恵

電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-231-1846